



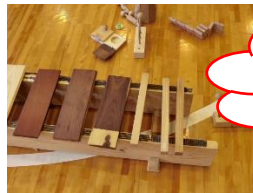
「森と友だちになろう 4年生」～木に親しむための活動～

平成30年度愛媛森林基金「木に親しむための活動」に参加しました。木遊びを通して、木材を利用する良さや木の文化への理解、愛媛の森林づくりへの関心を高めることをねらいに実施しました。

講師は、大五木材 高橋佐智子さんです。体育館にはたくさんの木遊びコーナーができており、子どもたちは目を輝かせて、木の玉プールに入ったり、木製のおもちゃを手に取ったりしていました。子どもたちは、木のぬくもりに触れて、遊んで、創って……心と体で木の良さを感じていました。



自然に出来上がった森には日の光が差し込むけれど、人工林では、木を切ったり、枝を落としたりして世話をしあげないと、光が入らず、木は育ちません。木を上手に使うことも、森林を大事にすることになります。



背の高さより高くなっちゃった。



私たちも、木のおもちゃを創って、遊びたいな。

学校の樹木に名札をつけました！

学校にある樹木について調べた子どもたちが、「学校にある木の名前をみんなに知ってもらいたい。」と名札を作り、木に取り付けました。

この日、名札を付けた木は、イチヨウ、イヌマキ、サンゴジュ、イロハカエデ、ホルトの木、キンモクセイ、アオギリ、ケヤキ、エノキ、マサキ、ヒマラヤスギ、ソテツ、アキニレ、コノテガシワの14種類でした。子どもたち手作りの名札の裏には、木のニックネームが書いてあり、みんなを楽しませてくれます。『おじいちゃん』のニックネームがついていたのは、コノテガシワでした。じっくり見ているとおじいちゃんに見えてきたような……。



今まであまり気にしていなかったけれど、日土小学校にもたくさんの種類の樹木があるんだな。

